

平成25年度事業報告書

1. 公益事業（一般会計）

I. 全国科学博物館活動支援事業

事業細目	内 容			
1. 全国科学博物館調査 研究等助成事業	(1) 全国の科学博物館における調査・研究・教育普及活動等に対して助成を行った。助成件数 17件			
	(2) 野依科学奨励賞の実施に対して助成を行った。 教員・科学教育指導者の受賞者 2名			
	(3) 「国際博物館の日」記念事業等に対して助成を行った。 ①「国際博物館の日」 ・5月19日・26日 上野公園建物ウォーキングツアー 参加者65名 ②「教員の日」（8月23日～24日） ・ショップ商品特別割引（10%）を行った。			
	(4) 国立科学博物館所蔵の実物標本を利用し、東北地域において震災復興支援事業「アロサウルス巡回展」を開催した。			
	1	宮城県	リアス・アーク美術館	2013/ 4/17～2013/5/ 12 入館者数： 4, 419人
	2	福島県	いわき市石炭・化石館	2013/ 5/16～2013/7/21 入館者数： 12, 206人
	3	福島県	福島県立博物館	2013/ 7/27～2013/9/16 入館者数： 18, 986人
	4	福島県	小野町ふるさと文化の館	2013/10/5～2013/11/1 入館者数： 2, 904人
	5	福島県	福島県文化財センター白河館	2013/12/4～2014/2/9 入館者数： 4, 054人
	6	福島県	猪苗代体験交流館	2014/2/11～2014/3/2 入館者数： 2, 529人
	入館者総数：45, 098人			
	・開催期間中の行事：「最新恐竜学」と題した講演会や「化石のレプリカづくり体験教室」などを開催した。			

<p>2. 全国科学博物館協議会との共同主催事業</p>	<p>(1) 海外科学系博物館視察研修に対して助成を行った。 全科協会員 15名参加 (8館) 実施日時：平成26年1月13日(月)～1月24日(金) (12日間) カナダにある以下の施設を公式訪問 ①オンタリオ・サイエンス・センター (トロント) ②カナダ自然史博物館 (オタワ) ③カナダ自然科学技術博物館 (オタワ) ④テラス・スパーク (カルガリー) ⑤ロイヤル・ティレル・博物館 (ドラムヘラー)</p>  <p>ロイヤル・ティレル博物館 26. 1. 21</p> <p>(2) 研究発表大会に対して助成を行った。 開催日：平成26年2月21日(金) 会場：北九州市立自然史・歴史博物館 (北九州市) テーマ：絆づくりと活力あるコミュニティの形成 —博物館は自立・協働・創造をどう担うのか— 参加者数： 85名 (55館)</p>
------------------------------	---

II. 科学情報の開発・普及事業

事業細目	内 容
1. 自然科学情報普及事業	<p>(1) 全国の科学系博物館、大学・高専図書館、都道府県立中央図書館、国立研究機関等へ自然科学情報誌「ミルシル」(国立科学博物館発行)を配布した。</p> <p>(2) 「科学博物館におけるミュージアムショップの在り方調査研等委員会報告書」全140ページを財団ホームページに公開した。</p>
2. 自然科学活動等振興調査事業	<p>(1) 「サイエンスナビコーナー」において、年間を通して自然科学学習プログラム17件の工作・観察実験を実施した。</p> <p>(2) 「英国におけるミュージアムショップ実情調査」(国外)及び「高知県立牧野植物園におけるミュージアムショップ実情調査」(国内)を実施した。 (国外) 期 間 平成25年8月2日～8日 調査先 ロンドン自然史博物館、大英博物館、交通博物館、科学博物館 調査者 有限会社アールプラント 代表 牧野 奈緒</p>

	(国内) 期 間 平成26年2月24日 調査先 高知県立牧野植物園 調査者 科学雑誌「ミュゼ」編集長 山下 治子氏
--	--

2. 収益事業(特別会計)

(1) 一般事業の実施

事業細目	内 容
1. 国立科学博物館に関する書籍の出版・販売	(1)国立科学博物館発行「milsil (ミルシル)」の販売を行った。 (2)地球館(新館)、日本館(本館)コンセプトブックの販売を行った。 (3)絵葉書、その他刊行物の販売を行った。
2. ミュージアムショップにおける教育標本等販売	(1)科博カプセルミュージアム等オリジナルグッズの販売を行った。 (2)委託商品の販売を行った。 (3)Web通信販売を行った。

(2) その他

事業細目	内 容
1. 公衆電話の設置	(1)公衆電話を設置し、来館者への便宜を図った。
2. 両替機等の設置	(1)両替機・見学記念メダル自動販売機を設置し、来館者への便宜を図った。